

令和4年度 第14回「松任地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和4年6月18日（土） 10：00～11：00

場 所：松任公民館

参加団体等：松任婦人会、松任壮年会、星寿会、松任地区社会福祉協議会、市町会
連合会副会長、市長会連合会理事、公民館長など

発言【1】

(1)横断歩道の停止線が消えている

(2)中高生の自転車による死亡事故があった場合、被害者ではなく加害者になることも想定される。市もそうなった時のことを考える時期ではないか

【市】

(1) 道路のリフレッシュ事業として、早めに対応します。

(2) 石川県が来年度、自転車の安全、適正な利用を推進する損害賠償保険加入の義務化を含めた条例制定に向けて検討に入ります。施行されれば、県内全域が自転車保険加入義務化となりますので、市といたしましては県の動向を注視し、研究していく必要があると考えております。

また、中学生に限らず小学生にも交通安全について頻繁に各校指導を行っており、警察など外部機関にも協力してもらい加害者の視点からも交通ルール、マナーについて講演いただく機会も作っております。

発言【2】

(1) 公民館の防災倉庫の整備を4年間かけて行うとなっているが、もっと早くないか

(2) 防災倉庫の備蓄品について

(3) 小中学校の体育館だけではなく、空き教室にも備蓄品等を入れることはできないか

【市】

(1) 公民館の防災倉庫は4年間での整備を目指しており、中期計画の見直しを図り早期に完成できるよう検討してまいります。

(2) 災害時に地区の防災拠点として中心的な役割を担う地区公民館に、優先的に防災倉庫を設置し、地区内各避難所の状況等をふまえ、備蓄数量を調整、管理してまいります。

(3) 松任地区では学校（体育館）、公民館、文化会館、保育施設など、比較的狭い

エリアに避難所があります。各施設の事情等もあり、全ての避難所に備蓄品を配備していませんが、有事の際には近くの拠点的倉庫から搬入するなど、備蓄提供に支障がないように対応してまいります。

発言【3】

災害時の避難所の鍵の開け閉めについて、市で検討してほしい
※金沢市は今年度より各町内会長に避難所の鍵を渡している

【市】

これまでも検討しているところではあるが、町内会によっては、鍵を預けることによる紛失、建物内での事件・事故が起きた場合の責任の所在、不在時の鍵の受け渡し等、管理体制の難しさを指摘する声も上がっており、今後の検討課題になっております。

発言【4】

現在建設中の市民野球場に、倉庫を作る計画はあるか

【市】

野球場も災害時の避難所になっておりますので、大型の防災倉庫を備える予定です。

発言【5】

民生委員が有事に備え、高齢者世帯の見守りに、スマートフォンやタブレット端末で地域情報共有アプリを活用してはどうか

【市】

地域情報共有アプリ「結ネット」を活用した取り組みは、現在、市民提案型まちづくり支援事業補助金を活用して行っている地区もあります。効果の有無、メリット、デメリットを検証し、アプリの基本となる電子回覧板としての必要性をふまえ、関係部署との検討が必要です。

発言【6】

松任図書館のデジタル化について

【市】

令和3年10月に電子図書館をオープンさせ、令和4年8月末のタイトル数は、4,315冊となっています。電子図書館の本は、著作権の関係により、最新刊はデジタ

ル化されないものが多く、また、新しいコンテンツは2年間及び52回の閲覧という制限があります。図書館司書が、より多くの皆さんに利用していただけるように、選書して順次、コンテンツとして提供しております。貸出数等の動向を見ながら、より魅力ある電子図書館になるよう進めてまいります。

発言【7】

松任石川中央病院の Wi-Fi 環境について

【市（松任石川中央病院）】

すでに病院において次年度に向けて独自に Wi-Fi 事業として計画しております。

発言【8】

災害時、松任公民館ではたくさんの人数を収容できないのではないかと

【市】

市では対象地域にお住いの全ての人の避難所受け入れを想定していません。施設別避難想定人数については、想定避難割合（パーセント）ごとに区分した避難者の概数を把握しています。

有事の際には、避難所に移動するだけが避難ではありません。市では住宅が損壊するなどして自宅に住むことができない被災者等を除き、状況に応じて、自宅で安全が確保できる場合の垂直避難や斜面からの一番遠い居室への避難、近隣の安全な知人、親戚宅への避難など、分散避難の検討・ご協力をお願いします。

発言【9】

松任公民館の建設について

【市】

公民館の建設については、耐震問題のあるところから順番に建設しております。松任公民館は耐震化されており、それ以前に建てられた公民館が10カ所あります。建てた順番で遅くなってしまうことについてはご理解いただきたいです。

防災倉庫は4年間での整備を見直しておりますが、中期計画の見直しを図り、早期に完成できるように検討してまいります。